



でらボラ NAGOYA 通信 12 vol.1 2014.

ご支援、
ありがとうございます！

真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク 発行

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん（毎月12日）」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

これからの活動予定①

【被災された方々とともに新しい一年を。

いのちのよびごえカレンダー2015】

一日一日を、被災された方々ところ響きあう生活をしたい。そんな願いから「いのちのよびごえカレンダー」が作られるようになって、今回で3年目を迎えます。

あなたが一冊購入することで、被災された方に一冊送られます。

いのちあふれる言葉とともに、いのち響きあう一年を迎えませんか？

売価 1,000円(一口2冊分)

購入をご希望の方は、メールでお問い合わせください (derabora758@gmail.com)



←2015年版 「いのちのよびごえカレンダー」

教えの言葉、日本、世界の有名・無名の言葉から、
「今」、大切にしたい言葉を厳選して、
毎月のカレンダーに掲載しております。

これからの活動予定②

【福島と名古屋をむすぶ子ども会 in 東別院】

12月22～28日、福島県二本松市の「同朋幼稚園」の園児と保護者（20～30名）のみなさんをお迎えし、東別院などのお寺でホームステイを行います。

「放射能を気にせず、名古屋で遊ぼう」

東西の別院や、名古屋大谷高校の高校生、真宗大谷派の僧侶や門徒、お庫裡さん、もちろん本会も全面協力し、福島の子どもたちと生活し、遊びます。

遠く離れていても、心がつながり、ともに包まれていく時と場がある、それが福島で生きる人々の支えになると、4回目を迎えて強く思います。

今年で4回目！

別院と、お寺などで、子どもも大人も、いい顔になります！福島のみなさんも楽しみにしています。



最近の活動報告

【県外避難された子どもたち、お母さんたちとイモ掘り】

報告者 奥村 和子

11月15日、放射能から子どもを守るため、東北から避難された方たち（あゆみ R.P.Net）の大人と子ども、15人のみなさんとお芋掘りをしました。

愛知県に来てから自然に親しむ機会が少なかったとのこと、とても喜んでもらい、お芋を育てた私たちもともに楽しい時が過ごせました。

「早く食べたいよ～！」という3歳の子どもに、「お芋は少し置いておく方が甘くなるのよ」と、スコップに足をかけて掘り起こしながら答えるお母さん。若くとも、よく知っておられる。「さすが！」なんて感心しました。

私は「今度は蔓を植えることから一緒にやろうね」と言ったのですが、それは、来年もまだ故郷に帰れないことを前提としていたのではないかと後悔。と思いつつ、春にはエンドウ・玉ねぎ等々、世代を超えたこんな体験をしてみたい。。。。。。



おイモ
はやくたべたい！

以上